

2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社紀文食品 上場取引所 東
 コード番号 2933 URL <https://www.kibun.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堤 裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員グループ統括室 長 (氏名) 上野 勝 TEL 03-6891-2600
 配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	84,713	2.4	2,656	30.6	2,244	38.2	901	63.5
2025年3月期第3四半期	82,756	1.4	3,826	2.1	3,631	2.4	2,468	1.7

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 943百万円 (63.9%) 2025年3月期第3四半期 2,616百万円 (15.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	39.49	108.14

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2026年3月期	83,380	21,710	25.3
2025年3月期	72,406	21,268	28.7

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 21,118百万円 2025年3月期 20,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期		0.00		20.00	20.00
2026年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2026年3月期の配当予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月15日に公表の配当予想を修正することといたしました。詳細につきましては、本日(2026年2月12日)公表いたしました「2026年3月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正(減配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2026年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月15日に公表の連結業績予想を修正することといたしました。詳細につきましては、本日(2026年2月12日)公表いたしました「2026年3月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正(減配)に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) (株) 紀文西日本

当社は、2025年4月1日を効力発生日として当社完全子会社である(株)紀文西日本を吸収合併いたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	22,829,781 株	2025年3月期	22,829,781 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	106 株	2025年3月期	61 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	22,829,678 株	2025年3月期3Q	22,829,720 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報 - (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(表示方法の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
2026年3月期第3四半期連結累計期間	84,713	2,656	2,244	901
2025年3月期第3四半期連結累計期間	82,756	3,826	3,631	2,468

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、堅調に推移する雇用や設備投資、各種の政策効果により、景気は緩やかな回復が見られたものの、米国の通商政策の影響や、物価上昇による個人消費の減速が懸念され、先行きに対する不透明感が続いております。

このような環境下において、当社グループでは、「中期経営計画2026」の2年目として、目標である『持続的に成長できる強固な企業体質の構築』の達成に向け、引き続き既存事業領域における確実な成長と、事業領域の拡大により成長を図る『成長戦略の推進と新たな価値創造』に取り組んでおります。また、成長を促進させる収益構造に向けた『資本効率の改善』と、今後の成長を支える『経営基盤の整備』に注力しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は84,713百万円と前年同期比1,957百万円の増収(2.4%増)となりましたが、営業利益は、原材料費や人件費などのコスト上昇の影響と海外食品事業の不振により2,656百万円と前年同期比1,170百万円の減益(30.6%減)となり、経常利益は2,244百万円と前年同期比1,386百万円の減益(38.2%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は901百万円と前年同期比1,567百万円の減益(63.5%減)となりました。

なお、当社グループの売上高・営業利益は、主力商品であるスリミ製品・惣菜が冬季におでん・鍋物等に向けての需要が高まることと、12月におせち料理関連商品の売上が集中するため、第3四半期に偏重する傾向にあります。前期及び当期における当社グループの各四半期での売上高及び通期の売上高に対する割合、営業利益は次のとおりであります。

※ 当社では、従来、蒲鉾・竹輪・はんぺん・さつま揚など日本ならではの練りものを総称し、「水産練り製品」としておりました。しかし、海外では、カニカマや独自に発展した練りものが「SURIMI」と呼ばれ、日本発のヘルシーフードとして人気を得ております。当社は、日本の練りもの文化を次世代に継承すべく、世界で愛される「SURIMI」の魅力に再注目し、2025年2月に発売する商品の展開と共に「水産練り製品」を「スリミ(SURIMI)製品」と呼称し、そのおいしさと魅力を広く発信する取り組みを開始いたします。

(単位：百万円)

	2025年3月期 前連結会計年度				2026年3月期 当連結会計年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高 (通期割合)	23,111 (21.3%)	24,648 (22.6%)	34,996 (32.1%)	26,155 (24.0%)	24,874 (22.4%)	23,989 (21.6%)	35,848 (32.2%)	— —
営業利益又は 営業損失(△)	451	94	3,280	686	359	△773	3,070	—

(注) 当連結会計年度の売上高の通期割合については、通期業績予想に対する割合を記載しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(国内食品事業)

国内食品事業では、日本国内において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、小売部門（BtoC向け）、商事部門（BtoB向け）いずれも前年同期に比して伸長しました。小売部門では、9月より様々なコスト増に対応するため価格改定を実施し、その後もカニカマや竹輪、はんぺん、玉子加工品等のカテゴリーでは、販売数量が増加し売上高も伸長しました。一方で競争環境の厳しい、その他のスリミ製品、惣菜のカテゴリーでは、販売数量が減少し売上高も落ち込みました。その結果、秋冬商戦に入り前年同期に対しての売上高伸長は上半期より減速しました。また正月商戦は、ウェブサイトと店頭を連携させた需要促進策、SNSでの情報発信などのプロモーション活動を積極的に展開し、前年同期に対して売上高は伸長しました。

商事部門では、食品メーカーや外食産業に向け、米糠油や大豆、胡麻等の農水産品が好調に伸長しました。

利益面では、冷凍すり身価格の上昇に加えて、野菜・鶏卵等の副原料や資材を中心とした原材料価格が想定を上回る高騰をしたことで、販売数量の減少も相まってコスト増を価格改定で補うことができず、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は60,502百万円と前年同期比1,273百万円の増収（2.2%増）となり、セグメント利益は1,007百万円と前年同期比1,270百万円の減益（55.8%減）となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
第3四半期連結累計期間	59,228	2,278	60,502	1,007

(海外食品事業)

海外食品事業では、海外において食品の製造及び販売を行っております。

売上面では、米国の関税政策が一応の決着を見せたことと、中国での新規取引先の開拓が進んだことで、両国では一定程度の回復の兆しが見えてまいりました。しかしながら、一連の通商政策に伴う混乱や、各国でのインフレ等に起因した食料品に対する消費不振が継続していることから、主力であるカニカマやその他スリミ製品の販売減少が続き、減収となりました。

利益面では、特にタイ工場において急速なバーツ高の進行による輸出競争力の低下、自社製品の売上高減少に伴う生産効率の悪化により、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は7,966百万円と前年同期比398百万円の減収（4.8%減）となり、セグメント利益は319百万円と前年同期比342百万円の減益（51.8%減）となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
第3四半期連結累計期間	8,364	662	7,966	319

(食品関連事業)

食品関連事業では、日本国内において食品の運送、その他食品に関連した事業を行っております。

売上面では、当セグメントの中心である物流事業において、引き続き新規顧客の獲得や、既存顧客の物量増、インバウンド需要で好調な外食産業向けの物量が増加したことなどにより、増収となりました。

利益面では、物量増や料金改定、共同配送の積載率向上や配送コースの見直し、構内作業の自動化の推進等による効率化が寄与し、増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は16,245百万円と前年同期比1,082百万円の増収（7.1%増）となり、セグメント利益は1,261百万円と前年同期比288百万円の増益（29.7%増）となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益
第3四半期連結累計期間	15,163	972	16,245	1,261

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は83,380百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,973百万円増加しました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9,045百万円増加し、40,270百万円となりました。これは主に12月のおせち料理関連製品の売上等により受取手形、売掛金及び契約資産が10,443百万円増加、商品及び製品が336百万円増加した一方で、現金及び預金が1,901百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,928百万円増加し、43,109百万円となりました。これは主に有形固定資産の「その他」に含まれるリース資産が1,071百万円増加、退職給付に係る資産が870百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は61,670百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,531百万円増加しました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10,318百万円増加し、36,407百万円となりました。これは主に主原料等の調達増加により支払手形及び買掛金が1,594百万円増加、運転資金の調達により短期借入金が8,086百万円増加、流動負債の「その他」に含まれる未払費用が1,078百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ213百万円増加し、25,262百万円となりました。これは主に固定負債の「その他」に含まれるリース債務が953百万円増加、繰延税金負債が556百万円増加した一方、長期借入金の返済により1,158百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は21,710百万円となり、前連結会計年度末に比べ441百万円増加しました。これは主に利益剰余金が444百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は25.3%（前連結会計年度末は28.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月15日に公表の連結業績予想及び配当予想を修正することといたしました。詳細につきましては、本日（2026年2月12日）公表いたしました「2026年3月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正（減配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,799,179	6,897,392
受取手形、売掛金及び契約資産	10,914,868	21,358,820
商品及び製品	8,029,925	8,366,021
仕掛品	355,637	292,114
原材料及び貯蔵品	2,239,948	2,441,193
その他	899,104	948,241
貸倒引当金	△12,965	△32,977
流動資産合計	31,225,698	40,270,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,541,117	5,238,001
機械装置及び運搬具（純額）	2,386,513	2,870,825
土地	5,746,796	5,745,042
その他（純額）	4,279,637	5,182,155
有形固定資産合計	17,954,065	19,036,025
無形固定資産	254,431	156,874
投資その他の資産		
投資有価証券	2,367,432	2,426,020
退職給付に係る資産	19,491,364	20,362,265
繰延税金資産	104,956	74,517
その他	1,012,263	1,057,418
貸倒引当金	△3,662	△3,641
投資その他の資産合計	22,972,353	23,916,580
固定資産合計	41,180,850	43,109,480
資産合計	72,406,549	83,380,286

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,957,373	11,551,632
短期借入金	3,064,265	11,150,348
1年内償還予定の社債	1,035,560	1,085,560
1年内返済予定の長期借入金	5,151,530	4,877,777
未払法人税等	589,267	359,617
賞与引当金	935,968	575,021
その他	5,355,629	6,807,951
流動負債合計	26,089,595	36,407,907
固定負債		
社債	3,079,040	2,839,870
長期借入金	12,003,682	10,845,129
繰延税金負債	5,966,106	6,522,126
退職給付に係る負債	285,246	295,611
資産除去債務	346,070	341,156
その他	3,368,585	4,418,306
固定負債合計	25,048,730	25,262,200
負債合計	51,138,326	61,670,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,368,788	6,368,788
資本剰余金	1,942,988	1,942,988
利益剰余金	9,878,617	10,323,593
自己株式	△77	△125
株主資本合計	18,190,316	18,635,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	387,582	463,176
繰延ヘッジ損益	△24,733	2,632
為替換算調整勘定	1,141,199	969,197
退職給付に係る調整累計額	1,053,590	1,048,610
その他の包括利益累計額合計	2,557,639	2,483,617
非支配株主持分	520,266	591,316
純資産合計	21,268,223	21,710,178
負債純資産合計	72,406,549	83,380,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	82,756,262	84,713,483
売上原価	63,267,103	66,096,157
売上総利益	19,489,158	18,617,326
販売費及び一般管理費	15,662,186	15,960,694
営業利益	3,826,972	2,656,631
営業外収益		
受取利息	13,785	24,316
受取配当金	49,772	58,218
持分法による投資利益	61,358	73,132
為替差益	137,493	—
受取補償金	1,045	78,126
その他	39,173	36,644
営業外収益合計	302,629	270,438
営業外費用		
支払利息	439,622	544,137
為替差損	—	22,605
その他	58,924	116,062
営業外費用合計	498,546	682,805
経常利益	3,631,055	2,244,264
特別利益		
固定資産売却益	2,517	541
投資有価証券売却益	13,502	71,687
特別利益合計	16,020	72,229
特別損失		
固定資産除売却損	5,033	10,917
投資有価証券売却損	5,022	11,350
減損損失	79,942	98,032
特別損失合計	89,997	120,301
税金等調整前四半期純利益	3,557,077	2,196,193
法人税、住民税及び事業税	702,049	639,082
法人税等調整額	295,226	539,159
法人税等合計	997,275	1,178,242
四半期純利益	2,559,801	1,017,951
非支配株主に帰属する四半期純利益	91,073	116,380
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,468,728	901,570

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,559,801	1,017,951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,922	74,124
繰延ヘッジ損益	203	27,366
為替換算調整勘定	272,165	△175,807
退職給付に係る調整額	△195,871	△6,179
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,830	5,966
その他の包括利益合計	56,745	△74,528
四半期包括利益	2,616,546	943,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,530,506	827,548
非支配株主に係る四半期包括利益	86,040	115,873

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(表示方法の変更に関する注記)

当第3四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「受取補償金」は、金額的重要性が増したため、独立掲記することとしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた40,219千円は、「受取補償金」1,045千円、「その他」39,173千円として組み替えております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	59,228,503	8,364,738	15,163,020	82,756,262	-	82,756,262
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,680,851	3,587,844	5,207,063	10,475,759	△10,475,759	-
計	60,909,355	11,952,582	20,370,083	93,232,021	△10,475,759	82,756,262
セグメント利益	2,278,408	662,110	972,493	3,913,012	△86,040	3,826,972

(注) 1 セグメント利益の調整額△86,040千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内食品事業」及び「食品関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、「国内食品事業」61,179千円、「食品関連事業」18,762千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内食品事業	海外食品事業	食品関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	60,502,003	7,966,398	16,245,081	84,713,483	-	84,713,483
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,754,609	3,586,035	5,286,747	10,627,392	△10,627,392	-
計	62,256,613	11,552,433	21,531,828	95,340,875	△10,627,392	84,713,483
セグメント利益	1,007,862	319,299	1,261,296	2,588,459	68,172	2,656,631

(注) 1 セグメント利益の調整額68,172千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内食品事業」及び「食品関連事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、「国内食品事業」95,732千円、「食品関連事業」2,300千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,425,713千円	1,648,464千円